

危険物規制の概況

1 危険物施設

(1) 危険物施設数（第4-1表）

平成27年3月31日現在における県内の危険物施設数は、製造所199施設、貯蔵所5,647施設、取扱所2,440施設で、総数は8,286施設となっている。前年度と比較した場合、製造所は5施設減少、貯蔵所で57施設減少、取扱所で37施設減少し、総数で99施設の減少となった。

危険物施設の区分別内訳については、貯蔵所が総数の68.2%を占めており、その中では屋外タンク貯蔵所が最も多い。次に、取扱所は総数の29.4%を占めており、その中では一般取扱所が最も多い。なお、製造所は総数の2.4%となっている。

一方、全国の危険物施設数は、平成26年3月31日現在、総数が428,541施設で、その内訳は、製造所5,154施設、貯蔵所293,544施設、取扱所129,843施設となっている。

(2) 危険物施設数の規模別構成（第4-2表）

平成27年3月31日現在における県内の危険物施設を、その貯蔵し又は取り扱う危険物の数量により区分すると、指定数量の50倍以下の規模のものが全体の62.5%を占め、中でも5倍以下の規模のものが全体の25.1%を占めている。

(3) 危険物取扱者（第4-3表、第4-4表）

県内における危険物取扱者免状の交付状況及び危険物取扱者保安講習の受講状況は、第4-3表、第4-4表のとおりである。

2 危険物に係る事故（第4-5表、第4-6表）

平成26年中の県内での危険物に係る事故は、昨年28件から2件減少し、26件発生した。

事故の内訳は、火災11件、漏えい12件、その他3件となっており、火災で3件増加、漏えいで2件減少、その他3件減少となった。

第4-1表 危険物製造所等の推移(完成検査済証交付施設)

平成27年3月31日現在

危険物製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
平成16年	9,225	199	6,131	1,010	2,685	115	1,023	13	983	302	2,895	1,215	21	6	71	1,582
平成17年	9,157	202	6,087	997	2,673	111	1,011	13	992	290	2,868	1,194	21	6	75	1,572
平成18年	9,138	201	6,071	1,007	2,664	113	994	13	992	288	2,866	1,190	20	7	75	1,574
平成19年	9,102	202	6,092	1,012	2,659	108	985	13	1,000	315	2,808	1,162	18	7	77	1,544
平成20年	8,990	202	6,053	996	2,649	105	949	13	987	354	2,735	1,122	18	7	77	1,511
平成21年	8,865	204	5,982	985	2,653	105	925	12	946	356	2,679	1,083	17	7	77	1,495
平成22年	8,747	201	5,913	971	2,630	97	901	13	938	363	2,633	1,053	14	7	75	1,484
平成23年	8,658	205	5,869	966	2,597	94	892	13	946	361	2,584	1,030	14	7	73	1,460
平成24年	8,445	204	5,737	938	2,557	93	829	13	948	359	2,504	1,000	13	7	74	1,410
平成25年	8,385	204	5,704	936	2,530	94	825	13	958	348	2,477	991	13	7	73	1,393
平成26年	8,286	199	5,647	936	2,511	91	808	13	948	340	2,440	969	13	7	74	1,377
宇部・山陽小野田	1,567	66	1,057	197	529	7	108		177	39	444	117	4	1	5	317
周南市	2,182	75	1,634	183	911	6	71	5	285	173	473	95		1	51	326
防府市	549	9	334	85	129	7	56		48	9	206	67			3	136
下松市	335	3	235	46	47	2	16		115	9	97	50			1	46
下関市	827	3	527	143	142	32	99	1	68	42	297	156	3	5	2	131
岩国地区	1,033	27	763	64	444	9	99	3	119	25	243	96	4		12	131
柳井地区	374	12	233	43	82	8	65		24	11	129	66	1			62
光地区	320	3	189	45	67	3	35	1	24	14	128	49				79
長門市	197		124	23	43	2	33	1	20	2	73	49				24
美祢市	229	1	133	24	52	1	32		19	5	95	45				50
山口市	431		254	48	28	4	140		26	8	177	126				51
萩市	242		164	35	37	10	54	2	23	3	78	53	1			24
県																

第4-2表 数量別危険物製造所等の数(完成検査済証交付施設)

平成27年3月31日現在

危険物製造所等の別	県計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
県計	8,286	199	5,647	936	2,511	91	808	13	948	340	2,440	969	13	7	74	1,377
5倍以下	2,083	14	1,587	375	191	52	480	13	390	86	482	82	3	0	0	397
5倍を超え10倍以下	1,219	17	819	221	209	22	177	0	66	124	383	117	4	0	0	262
10倍を超え50倍以下	1,876	30	1,233	179	651	17	127	0	158	101	613	261	6	7	1	338
50倍を超え100倍以下	817	19	571	50	269	0	13	0	227	12	227	107	0	0	4	116
100倍を超え150倍以下	349	12	225	26	115	0	5	0	73	6	112	83	0	0	1	28
150倍を超え200倍以下	251	5	100	29	59	0	4	0	1	7	146	111	0	0	0	35
200倍を超え1,000倍以下	807	43	428	26	364	0	2	0	33	3	336	208	0	0	10	118
1,000倍を超え5,000倍以下	412	33	311	23	287	0	0	0	0	1	68	0	0	0	18	50
5,000倍を超え10,000倍以下	164	12	127	5	122	0	0	0	0	0	25	0	0	0	15	10
10,000倍を超えるもの	308	14	246	2	244	0	0	0	0	0	48	0	0	0	25	23

第4-3表 危険物取扱者免状交付状況(新規分)

区分	合計	甲種	乙種							丙種
			小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
16年度	6,042	108	5,569	637	561	474	2,548	542	807	365
17年度	5,518	120	5,059	594	465	450	2,387	455	708	339
18年度	5,944	161	5,562	665	628	463	2,508	566	732	221
19年度	6,061	163	5,585	693	635	415	2,653	503	686	313
20年度	5,729	188	5,199	592	559	454	2,394	522	678	342
21年度	5,500	184	5,081	615	567	479	2,053	549	818	235
22年度	5,272	198	4,884	636	473	471	2,156	577	571	190
23年度	5,174	166	4,827	601	508	441	2,128	475	674	181
24年度	5,622	190	5,186	681	534	462	2,251	543	715	246
25年度	4,972	191	4,615	618	466	427	1,941	526	637	166
26年度	4,542	179	4,200	547	443	431	1,740	478	561	163

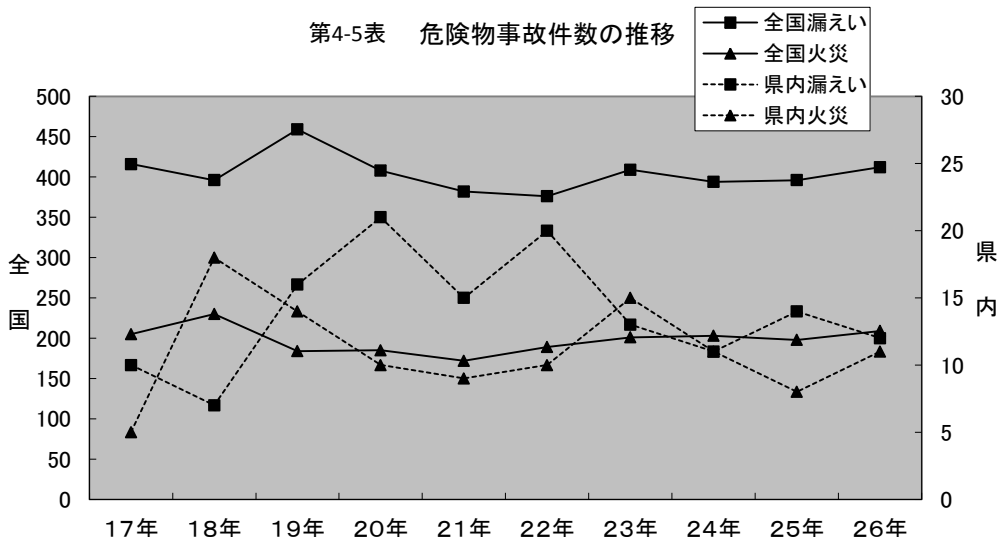
第4-4表 危険物取扱者保安講習の実施状況

区分	受講者数				会場数
	合計	給油取扱所	石油コンビナート	その他	
16年度	4,898	1,415	1,714	1,769	49
17年度	5,612	1,565	2,236	1,811	56
18年度	5,496	1,471	2,130	1,895	56
19年度	5,336	1,450	1,995	1,891	50
20年度	5,954	1,520	2,446	1,988	57
21年度	5,592	1,402	2,332	1,858	57
22年度	5,396	1,426	2,156	1,814	51
23年度	5,717	1,451	2,361	1,905	57
24年度	5,410	1,341	2,259	1,810	55
25年度	5,467	1,396	2,248	1,823	51
26年度	5,599	1,382	2,415	1,802	57

(26年度)

	合計	給油取扱所	石油コンビナート	その他
回数	57	19	18	20

第4-5表 危険物事故件数の推移



第4-6表 平成26年中の危険物施設等の事故概要

No.	発生月日	発生場所	事故種別	製造所等の別	危険物の品名	事故の概要
1 ※ 石	2月4日	宇部市	火災	製造所		硝酸ナトリウムを製造する硝曹工場(危険物製造所)内で、当該工場の建屋(屋根及び越屋根ガラリー)改修工事のため、塗装工の男性が越屋根部分の鉄骨垂木を塗装の下準備としてディスクグラインダーでのケレン作業を行っていたところ、越屋根に設置されていた工場南側の木製ガラリー部分(特例適用部分)から白煙と炎を発見したものの。
2	2月4日	宇部市	火災	一般取扱所		廃水分離改造工事のため、一般取扱所内で金属配管の切断、溶接工事を実施していたところ、タンク内の可燃性蒸気が配管に漏えいし、その可燃性ガスに溶接の火が着火、配管内を通過して貯蔵タンク内上部の可燃性ガスに引火し、タンク内部で爆発を伴い一気に発火、タンク天板が一部開放し、そこから引火した廃液の一部が飛散し、タンク下部で作業中の作業員1名の着衣に着火して1名が顔面や背中への火傷を伴う中等症を負い、付近に駐車していた車両1台の一部を焼損したものの。
3	2月10日	岩国市	その他	移動タンク貯蔵所	ガソリン	危険物給油取扱所において、移動タンク貯蔵所から地下専用タンクへ単独荷卸しシステムを使用して、ハイオクガソリンを注入中にシステムが緊急停止され、警報アラームが鳴ったため、車両上部のマンホールよりタンク内を確認したところ、レギュラーガソリンが減っていることに気付き、誤注入が判明したものの。
4 ※	2月11日	岩国市	火災	一般取扱所		グラビアプリント機を使用して、製品の表面処理作業を行っていたところ、塗料塗布装置付近から出火したものの。

No.	発生日	発生場所	事故種別	製造所等の別	危険物の品名	事故の概要
5 ※ 石	2月25日	宇部市	火災	一般取扱所		ナイロン樹脂原料であるラウロラクタム(LLC:非危険物)の重合設備において、LLCと熱媒油が通る二重配管のフランジ部からLLCが漏れ出し、その漏れ出したLLCそのものが出火したものの。
6 ※ 石	2月27日	周南市	火災	製造所		雨だれに似た変色を保温材外部に確認したことから、日中のパトロール回数を増やし強化していたところ、パトロール中の従業員が、反応器(No.1)から反応器(No.2)への連絡配管のフランジ部付近から火が出ているのを発見し、有線ページングで計器室に連絡したものの。
7	3月18日	光市	流出	屋外タンク貯蔵所	重油	屋外タンク貯蔵所からボイラーへの供給管で、タンクと送油ポンプ間の配管が腐食し、ピンホールが生じ、重油約20リットルが防油堤内に漏れ出したもの。
8 ※ 石	3月14日	周南市	火災	一般取扱所		地震の発生に伴い、装置の緊急停止を実施した。その後、装置の点検を行っていた従業員がエチレン装置の分解炉排ガス吸引ファンの軸受下部付近から火が出ているのを発見したものの。
9	3月15日	山陽小野田市	火災	一般取扱所		医薬品原薬・中間体製造工場において、脱水洗浄のため溶剤(イソプロピルエーテル:IPE)とともに遠心分離機にかけ、作業が完了し、遠心分離機のふたを開け、内部の中間体製品(半固形化したもの:非危険物)を作業員がステンレス製のスコップで容器へ取り出していたところ、突然内部から炎が噴き出し、作業員2名が顔面熱傷等負ったもの。
10	4月4日	山陽小野田市	火災	製造所		重合禁止剤用途等で使用される第5類危険物カヤブチルDを製造する工場において、当該製品の不純物除去のため、ろ過工程の中にあるろ過器に脱水剤と一緒に入れ、ろ過を完了し、製品は次の製品槽へ送液された後、ろ過器内に残った脱水剤とカヤブチルの残渣が付着したろ布を洗浄するため取り除こうと作業員がろ過器から持ち上げたところ、突然3~4mのオレンジ色の火柱があがり、周囲のろ布やろ紙、樹脂製の配管等を一部焼損したものの。
11	4月15日	下関市	その他	給油取扱所		給油取扱所に隣接する駐車場に駐車する際、誤って車止めを乗り越え、防火塀に衝突し防火塀の一部(幅2.8m)が倒壊したものの。
12	6月9日	光市	火災	一般取扱所		酸洗設備(ソルトバス)に進入するステンレス薄板の位置を調整する油圧シリンダ付近から出火し、油圧ホース及び電気配線等が焼損したものの。
13 ※ 石	6月13日	和木町	流出	屋外タンク貯蔵所	原油	作業員が浮き屋根式屋外タンク貯蔵所(容量:48,210KL、漏洩時:44,080KL)の浮き屋根デッキ上の水たまりに油膜があるのを発見、確認の結果、デッキ板に直径0.5ミリメートルの穿孔が確認されたもの。
14 ※ 石	6月15日	和木町	流出	移送取扱所	重油	製品出荷棧橋C重油出荷配管(非移送中)のバルブ取付フランジ部からC重油0.8リットルが漏洩、棧橋排水口を通じて海上に流出したものの。
15 ※	6月18日	下関市	その他	移送取扱所		航行中の船舶が操舵不能となり、移送取扱所の棧橋(ドルフィン)に衝突し破損したことにより、配管及び約30m変形したものの。

No.	発生日	発生場所	事故種別	製造所等の別	危険物の品名	事故の概要
16 ※石	6月27日	和木町	流出	製造所	硫黄	硫黄回収装置の移送ポンプがトリップし、予備ポンプを起動した際に、予備機出口側の貫通確認用配管のパージ弁が開いていたため、硫黄が施設内に流出したものの。
17 ※石	8月12日	宇部市	流出	その他	重油	2種特定事業所の荷揚岸壁に係留中の船舶(水砕スラグ〔セメント原料〕運搬船)から、船員の重油配管バルブ操作ミス(バルブの閉め忘れ)により、船舶内用発電設備用サービスタンク通気管を通じ重油が甲板上に流出し、甲板排水口から重油数十リットル(流出量詳細不明)が海上漏洩したものの。
18	8月17日	山陽小野田市	火災	一般取扱所		火力発電所(石炭火力)ボイラー(危険物一般取扱所)へ燃料として供給する石炭のベルトコンベヤー(一般取扱所外)から何らかの原因で出火し、送炭停止中であったベルトコンベヤーを伝わって、当該一般取扱所内のベルトコンベヤー及びホッパーまでを延焼したものの。
19 ※石	9月12日	岩国市	流出	製造所	潤滑油	前工程から油を貯槽へ受け入れ、貯槽内を均一化するためにミキサー攪拌を開始、油温を効率よく下げるためにエアブローを行ったところ、貯槽の屋根部のマンホールからオーバーフローしたものの。
20 ※石	11月20日	岩国市	流出	屋外タンク貯蔵所	モノエチレングリコール	屋外タンク貯蔵所(容量1,480KL)の側板溶接線近傍に割れが生じたことにより、モノエチレングリコール約50ミリリットルがしみ漏れたものの。
21	不明 (11月20日 発見)	平生町	流出	屋外タンク貯蔵所	重油	工場内の温水ボイラー及びチップ乾燥用炉へ燃料を供給する屋外タンク貯蔵所から通常の払い出しを行っていたが、タンク側板から防油堤内にC重油が流出しているのを発見したものの。
22 ※石	不明 (11月23日 発見)	岩国市	流出	製造所	重油	装置の運転開始をするための事前準備としてトレーサへの蒸気通気を再開した後、操油担当者が巡回中に保温配管フランジ部からの漏えいを発見したものの。
23 ※石	12月8日	岩国市	流出	製造所	潤滑油	角槽(BL-6)に原料油を張り込み開始後、パトロール中に排水バルブが破損し油が流出しているのを発見したものの。
24 ※石	12月8日	和木町	流出	屋外タンク貯蔵所	スロップ油	内部浮き蓋付屋外タンク貯蔵所(容量:13,035キロリットル)へパージ油(配管内置換用)を受入れた直後、タンク内部に設置しているガス検知器が発報、内部を確認したところ浮き蓋上に油が漏えいしているのを確認したものの。
25 ※石	12月10日	和木町	流出	一般取扱所	ノルマルデカン	ポリ4メチルペンテン1製造装置の溶媒回収工程において、保温配管フランジ部からノルマルデカン約100Lが漏えいしたものの。
26	12月31日	下関市	火災	一般取扱所		水冷式コンプレッサー稼働中に冷却水が停止し、エア吐出温度が上昇したが、吐出温度センサーの故障により、自動停止しなかったため油回収器内の温度が上昇し、出火したものの。

注) ※印は、石油コンビナート等特別防災区域内における事故(「石」は石災法上の異常現象)に該当する。